

2023年度オープンアクセスリポジトリ推進協会 (JPCOAR)

総会議事要旨

日 程 : 2024年3月13日 (水) 13:30~15:15

会 場 : オンライン総会

会員数 : 748 (2024年3月1日現在)

出席会員数 : 529 (うち、委任状による出席326) (2023年3月13日 09:00現在)

議 案

- | | | |
|-------|------------------------|-------|
| 第1号議案 | 2024年度会長選出について (協議) | (資料1) |
| 第2号議案 | 2024年度監事選出について (協議) | (資料2) |
| 第3号議案 | 2024年度運営委員会委員について (協議) | (資料3) |
| 第4号議案 | 2024年度活動計画について (協議) | (資料4) |
| 第5号議案 | 2024年度予算について (協議) | (資料5) |

報 告

- | | | |
|----|--------------------------------------|-------|
| 1) | 2023年度活動について (報告) | (報告1) |
| 2) | 2023年度決算について (経過報告) | (報告2) |
| 3) | JAIRO Cloud (WEKO3) への移行について (報告) | (報告3) |
| 4) | JAIRO Cloud共同運営検討タスクフォースの活動について (報告) | (報告4) |

議事 :

議事に先立ち、杉田運営委員会委員長(京都大学附属図書館事務部長)から、「オープンアクセスリポジトリ推進協会会則」(以下「会則」という。)および「通常総会の電子的な通信並びに記録手段を用いた開催に関する細則」(以下「細則」という。)に基づくオンライン会議として、2023年度通常総会を開催するとの報告があり、総会開会要件の確認と、総会が成立している旨報告があり、開会が宣言された。

引き続き、オープンアクセスリポジトリ推進協会会長(青山学院大学図書館)の伊達直之図書館長から開会挨拶があった。

1. 議案

議案1) 2024年度会長選出について (協議)

杉田運営委員会委員長から、会則第6条に基づき、資料1により会長として、名古屋大学附属図書館の推薦があった。事前質問及び出席会員からの質問はなかった。

議案2) 2024年度監事選出について (協議)

杉田運営委員会委員長から、会則第7条に基づき、資料2により監事として、東京外国語大学附属図書館および神戸市外国語大学図書館の推薦があった。事前質問及び出席会員か

らの質問はなかった。

議案3) 2024年度運営委員会委員について (協議)

杉田運営委員会委員長から、資料3に基づき、以下の説明があった。事前質問及び出席会員からの質問はなかった。

- ・継続予定の委員が人事異動等により継続困難となった場合、運営委員会において後任候補を選定し、会則第10条の第2項及び第4項の規定に基づく文書による臨時総会で審議する。

議案4) 2024年度活動計画について (協議)

野中運営委員会委員から、資料4に基づき、JPCOAR活動方針(2022-2026年)に基づく作業部会・タスクフォースの2024年度活動計画(案)の説明を行った。以下の事前質問及び出席会員との質疑応答があった。

【事前質問】

「3.リポジトリシステムの維持・発展の促進 ①JAIRO Cloud作業部会(イ)機能改善」の計画は、2023年度活動計画の記述のまま「JAIRO Cloudに関する機能改善の集約方法等について検討する。」とされており、内容に具体性がなく成果も求められていないが、共同運営検討TF活動報告等をふまえて具体的な活動内容や達成目標を明記すべきではないか。

【回答】

2023年度計画では、「JAIRO Cloud作業部会(活動開始は、JAIRO Cloud移行完了後となる。)」とされており、作業部会は立ち上がらなかった。今年度の具体的な活動についてはこれからの検討となる。ぜひ作業部会の活動に参加して一緒に成果をあげて欲しい。

【当日質問】

昨年度の総会で、JPCOARの活動計画案というタイトルの資料ではあるが、作業部会ごとの計画にとどまっており、協会全体としての計画が見えづらい、という意見を述べ、JPCOAR活動方針(参考資料2-5)に基づいて活動しているが、その指摘も重要な課題であるので2023年度運営委員会に申し伝える、という回答があり、議事要旨にも残されている。ただ、この活動方針は3年前に策定されたもので、その後、その際には想定されていなかった状況の変化もあるかと思われ、もちろん、周りで何が起きても揺るぎのない活動方針なのだ、ということなのかもしれないが、見直していくことも必要なのではないかと思う。その一つの典型が、2025年即時OA義務化という動きだと思うが、今年度JPCOARではオンラインイベントなども精力的に開催されていて、JPCOAR

としてどう対応していくのか、注目や期待も高まっているところだと思うので、ぜひとも積極的に関与するというを高らかに宣言していただくような活動方針であってほしいと考える。

【回答】

活動方針のビジョンでも示した「新たな役割を果たすことが求められている」が具現化してきており、ご意見を重く受け止める。即時OA化にどう対応していくかが当面の大きな課題と考えているので、作業部会の体制や方向性を議論しなおして、場合によっては作業部会再編成もありうるとして、まずは計画に着手して平行して全体的なことを踏まえ活動を必要に応じて組み立て直して進めていきたい。

報告2) 2023年度決算（経過報告）

会員機関より予算案の協議の前に決算の経過報告をいただきたいとのご要望を受け、吉田運営委員会委員から、報告2および参考資料1に基づき、資料の訂正のお詫びと経過報告を行った。4月以降に収支が確定したのち監事監査を経て、決算として臨時総会（メール）で審議される予定との補足があった。以下の事前質問及び出席会員との質疑応答があった。

【資料訂正】

JAIRO Cloud利用料金 2023年度当初予算額

(誤) 77,836,000

(正) 78,496,000

【事前質問】

次回以降、決算も総会協議事項としていただきたい。今総会においても、予算協議に先立って決算経過報告を行っていただきたい。

【回答】

決算は監査を経て決定するので、総会時点で協議事項として賛否を問うことはできないが、決算経過報告に関しては次年度から予算案協議の前にご報告する。

【事前質問】

「2023年度当初予算額」が、2022年度総会で可決された「2023年度予算額」と異なっているのはどういうことか、ご説明願いたい。

【回答】

杉田運営委員会委員長・事務局は、ウェブサイト上の2022年度総会資料6「2023年度JPCOAR予算（案）」を参照し、同資料における『2023年度予算額』と、今回の2023年度総会決算経過報告における『2023年度予算額』に確かに相違があることを確認し、2023年度総会資料の当該項目を訂正する旨の説明を行った。

議案5) 2024年度予算について (協議)

吉田運営委員会委員から、資料5および参考資料1に基づき、JPCOAR会計処理にかかる基本方針(機関経理、単年度予算、収支均衡)の説明および2024年度予算案から、JPCOARの活動に関わる経費について扱う事業推進経費を設け、いままでの作業部会活動費に加えて、調査等事業推進経費、問い合わせ対応窓口の業務委託経費を、各種協会活動を推進する事業経費としてまとめることとしたという説明を行った。併せて訂正のお詫びとも行った。以下の事前質問及び出席会員との質疑応答があった。

【資料訂正】

5.事業推進経費 下から2番目 「調査等事業推進経費」 増減額
来年度予算額(C) - 今年度決算見込額(D)
(誤) 5,025,000 - 0 = 2,355,000
(正) 5,025,000 - 0 = 5,025,000

【事前質問】

議案資料5(p.8)の予算案<支出の部>に「5.事業推進経費 窓口業務委託経費 4,824,000円」は、どのような業務を委託しているのか業務内容をご教示願いたい。

【回答】

委託している業務内容は以下に関する一次受け窓口や定型回答業務である。

- ・ JPCOARへの問い合わせ対応業務(入退会申請、変更申請、請求書発行業務等)
- ・ JAIRO Cloudに関する問い合わせ対応業務(JPCOARが一部負担、MLの回答対応等)

【事前質問】

支出の部「3.総会経費」について、2023年度の決算見込額1,174,142円のところ、2024年度予算額は450,000円であるが、予算額として十分か。

【回答】

2023年度は総会開催に合わせて、2024年度の活動計画を検討するJPCOAR作業部会・タスクフォースの全体ミーティングを開催したため予算額が当初よりも大きくなった。2024年度総会の予算はこの全体ミーティングがない前提で、オンライン配信経費の450,000円を計上している。

【事前質問】

「調査等事業推進経費」は、出向者の業務内容変更に伴い科目・名称を変更したもののようだが、2019年度総会可決の「専任の事務局員確保の方策について」では「企画立案等に携わる専任の事務局員」確保のために「庶務業務を担当する事務補佐員の雇用が

必要」として会費増額を行っているのだから、「事務作業を行う出向者を廃止」して業務を変更するのであれば、予算案の補足説明で済まらず、事務局の業務・体制の変更について個別の協議事項として賛否を問うべきではないか。

【事前質問】

資料9 ページの2に「出向者に対する事務局費は調査等事務推進経費に計上する。2024年度より事務局への事務作業を行う出向者を廃止し、協会の活動に関連した調査、研究、活動支援を行う業務内容としたためである。」とあるが、「調査等事業推進経費」は具体的には何に支出するのか？また、「出向者は廃止」とあるが、大学側から何らかの形で出向者・専任の協力者を出したい場合にはどうなるか。

【回答】

説明書きが不十分であったため正誤表の通り「科目の整理」の説明を修正した。出向者制度は廃止しておらず、出向者は毎年募集しているが、応募がないため改めて出向者の業務を「協会の活動に関連した調査、研究、活動支援を行う業務内容」に限るとして募集した。

機関から派遣していただけるよう2019年度に業務を整理していたが、同時に制度等とは変えなかったため、事務局員という位置づけのまま継続され、プロジェクトマネージャー的なこともやっていたきながら事務仕事も行っているという中途半端な状態であった。JPCOAR事務局とNIIの業務の仕分けも行い、2024年度募集からはプロジェクトのマネジメントに専従で取り組んでいただくということで募集している。2024年度は予算計画上もそのような趣旨の経費として調査等事務推進経費に乘せ換えたいという提案を行った。事務局の業務・体制の変更については、JAIRO Cloud共同運営での業務分担にも関連しており、4月か5月に開催予定の意見交換会でもご意見をいただきたい。

【事前質問】

各部会の子算額について、備考欄に用途等が示されておらず妥当性が判断できないので示していただきたい。特に、前年比で大幅な増額となる「コンテンツ流通促進作業部会」について理由を明確にしていきたい。

【回答】

コンテンツ流通促進作業部会の子算額が大幅に大きくなったのは、2024年度にSCPJデータベースの更新に係る学協会への調査費用とデータベース更新委託費用が発生する見込みのためである（調査更新委託経費99万円は2020年度に同様の委託をした際の実績額）。また、その他の作業部会・TFの用途を備考欄に追記した。

【当日質問】

専従事務局員でないのであれば、会費を原資として協力費を支出する出向者の必

要性がよくわからない。

【回答】

JPCOARの活動をより効果的に推進するための全体の仕事を遂行してもらうための専従の職員と考えている。議決の際の記入欄に賛否含めご意見いただきたい。

【当日質問】

案のとおり出向者の業務内容を変更するであれば、予算上の名称としては「推進経費」などといわず「協力費」という表現は残すべきではないか。

【回答】

協力の精神がわかる形で表現を考えてみたい。

【当日質問】

出向者の役割の変更は、協議とすべきでは、というご意見に賛成である。

【回答】

出向者の業務内容の変更について賛否を伺うため、個別事項として協議するメール審議を行う。

【当日質問】

出向者の役割変更について別途協議いただけるとしたら、それをベースとした予算案の扱いは保留ということか？

【回答】

予算案（第5号議案）については、当初予定通りオンライン投票いただき、但し「5. 事業推進経費＞調査等事業推進経費」の部分については追加議案（出向者の役割変更）の結果に基づいて取り扱う、こととしたい（この旨、追加議案内でもご説明する）。整合性をよく考慮してすすめるのでご協力をお願いしたい。

2. 報告

報告1) 2023年度活動報告（報告）

野中運営委員会委員から、報告1に基づき、組織・体制、会議（総会、運営委員会）および活動方針に基づく作業部会等の活動報告があった。以下の通り出席会員との質疑応答があった。

【当日質問】

総会資料15ページの三上さんの発表資料について、3)と4)は同じものなので、3)

にまとめてほしい。

【回答】

資料を訂正する。

報告3) 次期JAIRO Cloud (WEKO3) への移行について (報告)

吉田運営委員会委員から、報告3に基づき、WEKO3移行の経緯と今後について報告が行われた。併せて、移行時のお詫びと協力への感謝が述べられた。以下の事前質問及び出席会員との質疑応答があった。

【事前質問】

「WEKO3の今後」【2】機能改善について「2024年度夏以降に一部の機関による先行利用を予定」とあるが、この先行利用機関を募集する予定はあるか。

【回答】

先行利用については企画中だが、公募を含めて検討する。

【当日質問】

OAアシスト機能との連携は夏から先行利用とのことだが、システムは完成済なのか。

【回答】

試行に使える状態までできており、最終調整中の段階である。

報告4) JAIRO Cloud 共同運営検討タスクフォースの活動について (報告)

高橋運営委員会委員から報告4によりJAIRO Cloud 共同運営検討タスクフォースの活動報告と提案が行われた。以下の出席会員との質疑応答があった。

【当日質問】

サポートの必要性の増大に関して、現在公開されているJAIRO Cloud関連のマニュアルが非常に使う側にとって分かりづらい。マニュアルの記述を初心者にも分かりやすく整備していただくよう検討して欲しい。

【回答】

マニュアルが充実してくればサポートの負荷が改善される部分もあり、システム寄りに作られたマニュアルをコミュニティがわかりやすくすることが大事だと思うので、ぜひ作成に参画いただきたい。

【当日質問】

NIIとの連携について、JUSTICEと同様の建付け（大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議の下に置く）とすることは困難か。

【回答】

JPCOAR発足の当初から、NIIにぶら下がるのではなく、オープンアクセスを推進するために大学図書館が共同して協会を作るのだという理念であるので、NIIと対等に共同運営本部を置くというのがタスクフォースの提案である。

3. その他

【当日質問】

議決権行使の期限が、オンライン総会当日の24時までというのは短い。オンライン総会での説明や質疑応答を基に投票内容を検討し、機関によっては、代理出席者から代表者へ確認したり、起案・決裁を行ったりという時間も必要なので、オンライン総会終了後、数日間は猶予があってほしい。

【回答】

今年度についてはスケジュールを示して進めているので予定通りとしたいが、来年以降の総会運営についてご意見を反映していきたい。

4. 事務連絡

事務局から次の連絡を行った。

- ・ 2023年度総会はずでに成立しており、細則第5条の延長は実施せず、議決権行使の期限、3月13日24時まで投票願いたい。
- ・ 作業部会員を3月18日からウェブサイトで募集する。
- ・ 3月の関連イベントの紹介。

[付記]

2024年3月13日24:00をもって議決権行使期間を終了し、その後、監事の立ち合いのもと開票を行った。その結果、第1号議案～第5号議案まで、すべての議案が可決された。但し第5号議案「5. 事業推進経費＞調査等事業推進経費」の部分については追加議案（出向者の役割変更）の結果に基づいて取り扱うこととなっている。

以上